

(4) 後天性免疫不全症候群及び性感染症の発生状況について

【後天性免疫不全症候群 (AIDS;エイズ)】

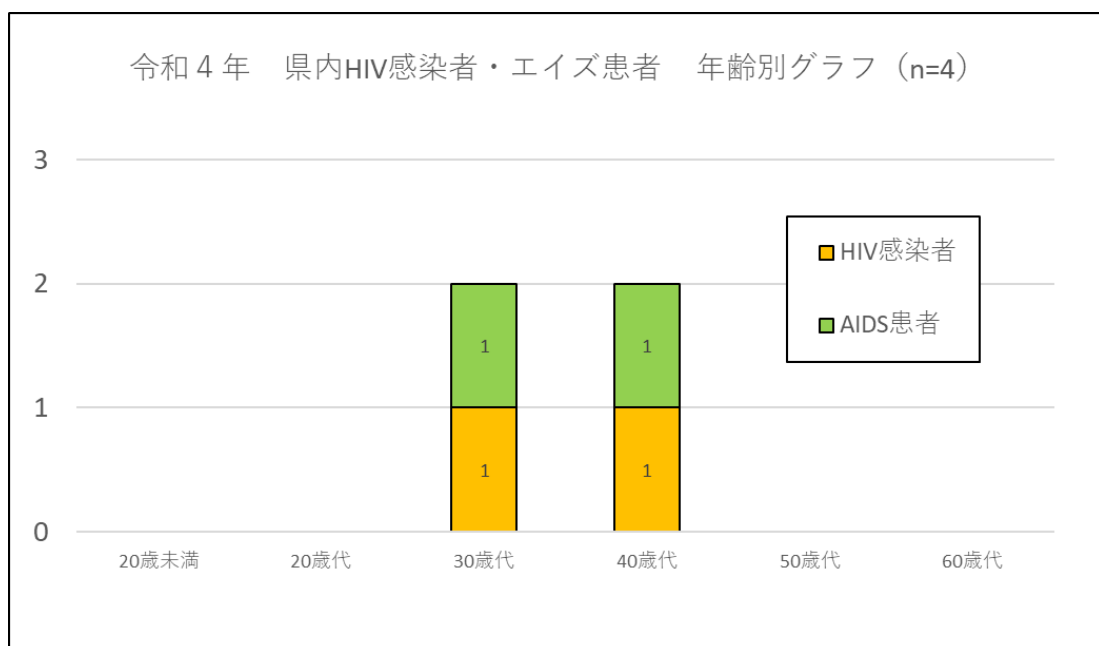
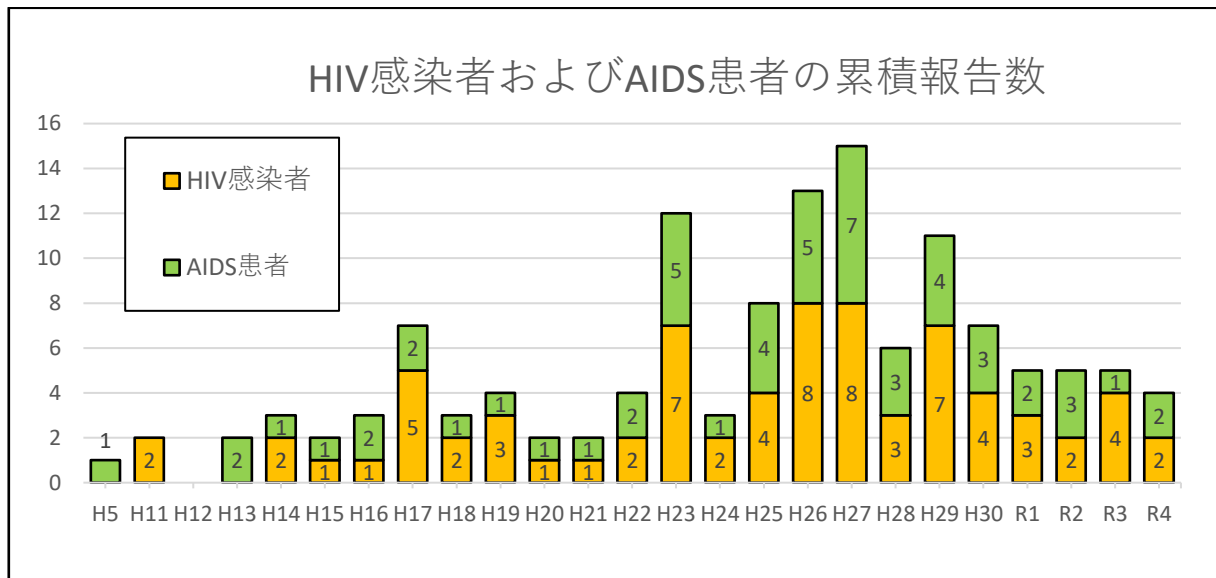
1 後天性免疫不全症候群 (AIDS;エイズ) について (五類感染症)

HIV 感染とは、ヒト免疫不全ウイルス (HIV) に感染した状態のことを言う。

一方、後天性免疫不全症候群 (AIDS ;エイズ) は、HIV の感染によって免疫力が低下し、日和見感染症や悪性腫瘍を合併した状態を言う。

HIV に感染しても、すぐにエイズを発症するわけではなく、免疫力が低下して、厚生労働省の指定する 2 3 のいずれかの合併症がみられたときに、初めてエイズと診断される。

2 県内の発生状況について



【梅毒】

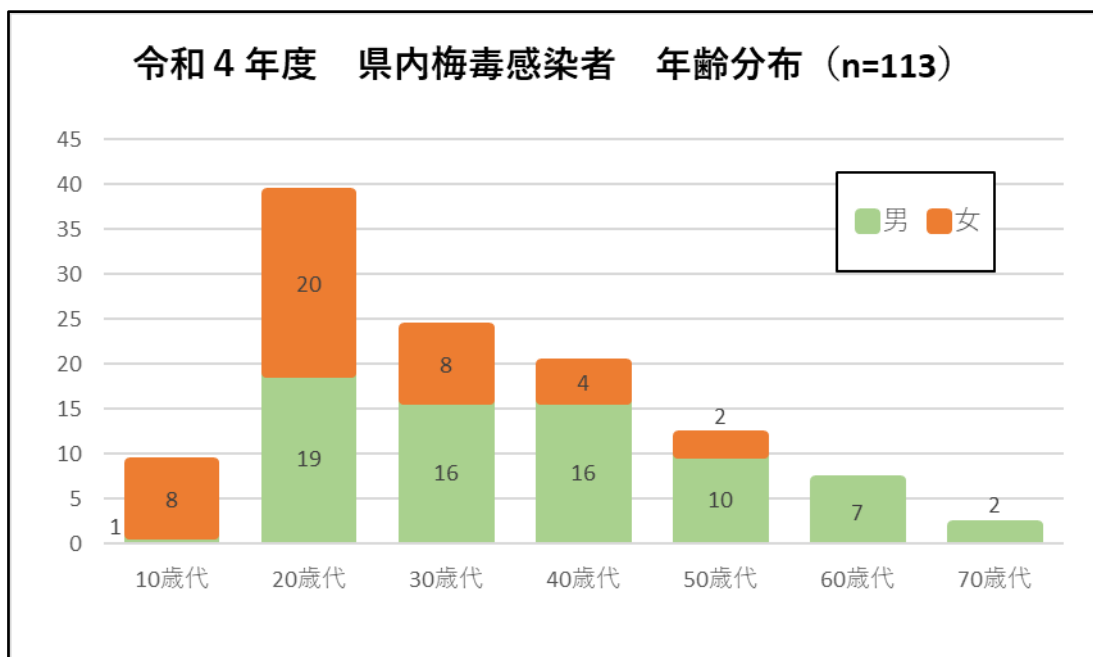
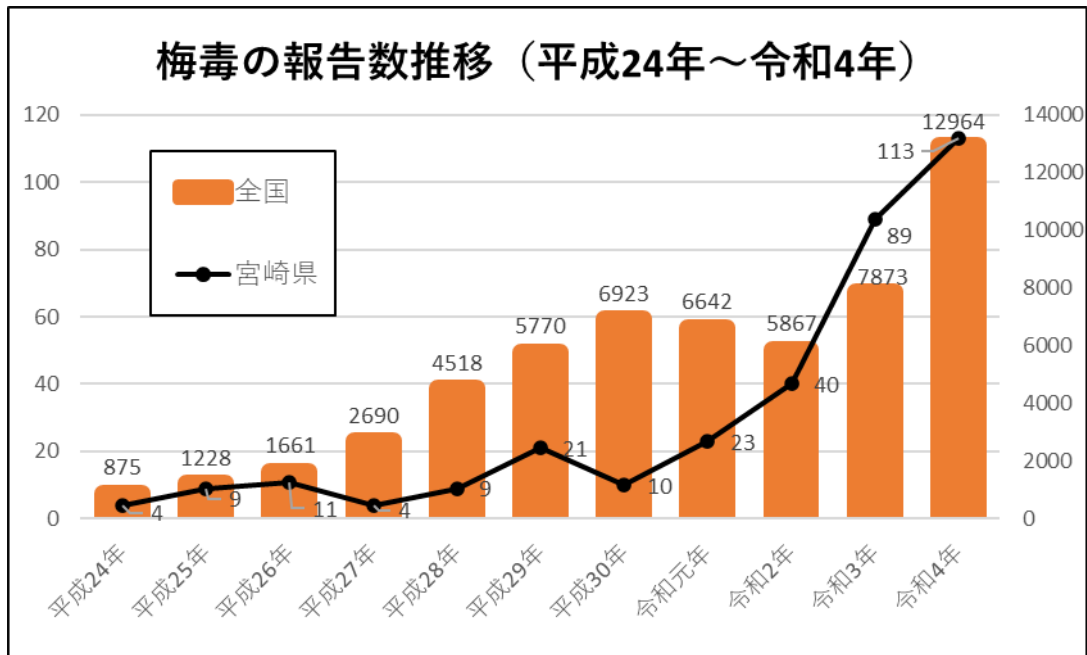
1 梅毒について（五類感染症）

梅毒は、性的な接触などによって感染する感染症で、原因は梅毒トレポネーマという病原菌である。病名は症状にみられる赤い発疹がヤマモモに似ていることに起因している。

早期の薬物治療で完治が可能だが、放置すると長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすことがある。時に無症状になりながら進行するため、途中で治療をやめてしまわないことが重要。

完治しても、感染を繰り返すことがあり再感染の予防が必要である。

2 発生状況について



【県の取り組みについて】

① 後天性免疫不全症候群

- ・エイズ治療中核拠点病院強化事業

エイズ治療中核拠点病院内にカウンセラー等を設置し、H I V感染者及びその家族に対し、社会的・精神的な問題の軽減に寄与する。また、エイズ治療拠点病院等の主治医からの依頼で、H I Vカウンセラーの派遣を行う。

- ・人権に配慮したエイズ予防のための普及啓発事業

エイズ予防キャンペーンとして、今年度も引き続き、若年層への予防啓発を強化する目的のもと、YouTube や Twitter といった SNS での広告配信、TV やラジオでの広告配信、街頭ビジョンでの動画配信、学校や事業所へのポスター配布、県内大型ショッピングセンター4か所でのリーフレットや啓発マスクの配布（みやざき犬参加）を行った。

また、若年層に特化した啓発として、県内の公立・私立の高等学校に校内放送用の啓発CDを配布した。

世界エイズデーに合わせて、県内の6保健所において無料・匿名での夜間特例検査を実施した。



令和4年度県作成ポスター

② 性感染症

前述の世界エイズデーでの夜間特例検査の際に、H I V検査に加えて、通常保健所で実施している特定感染症検査（淋菌、クラミジア、梅毒、B型肝炎、C型肝炎、HTLV-1）も合わせて検査を受け付けた。また、前述のエイズ予防キャンペーンリーフレットでは、県内の梅毒患者数が急増していることに触れ、H I V検査だけでなく性感染症の受検も促す内容とした。

梅毒患者の急増を受け、梅毒に関する県のホームページを開設し周知・啓発を行っている。